



横浜市立富岡小学校

学校だより

1月号



新年、あけましておめでとうございます。

平成30年は戌年。戌の干支の特徴は「勤勉で努力家」とありました。平成32年度より小学校は新教育課程の下で新たな教育を展開することになります。それまでの2年間、子どもたちの児童理解をより一層進め、新しい教育の準備を進めてまいります。「勤勉、努力」はまさに今年の学校の姿勢を示すものとも言えます。今年もまた、たくさんの保護者、地域の方々にお世話になります。よろしくお願いたします。



◆学校創立145年目になります！

本校は、明治6年6月18日、持明院におかれていた富岡学舎が前身となり、富岡学校、尋常富岡小学校、富岡小学校と4度の校名変更、3度の移転を経て、今日に至っています。幕末から明治にかけては、急速に日本社会が変わっています。明治5年8月2日 学制発布が行われ、近代的学校制度を定めた基本理念が確立されました。学制が敷かれ、わずか1年足らずで学校が整備されたことになります。この短い間に学校ができたということは、すでに寺子屋式の学校があったと推察されるところです。それだけ、富岡の地域には古くから人が住み、学問への志が高かったと考えることができます。

(明治5年 戸数110戸、人口746人 富岡郷土史年表より)

平成30年度は、「創立145周年」を意識しながら、教育活動を進めてまいりたいと考えています。

昨年8月より横浜市歴史博物館の学芸員他の方々により進めてまいりました郷土資料室の整備も終了し、使い勝手のよい郷土資料室として生まれ変わりました。12月2日(土)の「発表とみおかタイム」では保護者、地域の皆様にもご覧いただくことができました。参観された方から「明るく、展示も見やすく感動しました」というお声をいただきました。

今後は、郷土資料室の一層の活用、充実を図るために写真パネル、展示物の入替、管理、開放のルール等について考えていきます。学校運営協議会等を通じて意見をいただきながら、地域の方々のご支援をいただければ幸いです。



◆にじいろコンサート 12月9日(土)

(主催) 富岡地域ケアプラザ (共催) 富岡第三地区民生委員児童委員協議会 (協力) 富岡小学校

本校体育館にて、富岡中学校の吹奏楽部の演奏、地域にお住まいの“どれみ〜れ”の方々によるチェロ、ピアノ、フルートのアンサンブル演奏、本校特別合唱クラブの子どもたちによる合唱が披露されました。音楽を通じて小・中学生、地域の方々の交流を図ることができました。今後も学校・家庭・地域が連携して子どもたちを見守り、健全育成を図ってまいりたいと考えています。



◆「人権週間の取組/人権全校集会」11月28日(火)

車いすユーザー横山さんの生活の話を聞いたり外出時の映像等を視聴したりして、誰もが安心して豊かに生きることの大切さについて考えました。

◆「人権週間の取組/人権について考える」12月11日(月)

5年生は、人権移動教室(「国連NGO横浜国際人権センター」派遣)の授業を受けました。「国境なき医師団」の活動のビデオを見た後、講師の先生より人権学習は、自分を大切にする学習であること。同時に相手を思いやる気持ちをもつこと。相手の話を聞くこと。そして、自分の意見を言うこと。自分を知ることは難しいが、知ろうとすること、振り返りをするのが大切であることのお話をいただきました。子どもたちは真剣に話に聞き入っていました。質問の時間には、10名程がずっと立ち上がり自分の気持ちを述べていました。「してもらったら、お返しをすること」「お世話になったら、何らかの礼をつくす」ということを質問という返し方でこの場で行動化できたことは、子どもたち一人ひとりが心に響くメッセージを受け取ったからでしょう。短い時間ではありましたが有意義な時間となりました。

(校長 菅沼 伸一)